

第3章

沼津市下水道の概要

第3章 沼津市下水道の概要

3.1 沼津市の概要

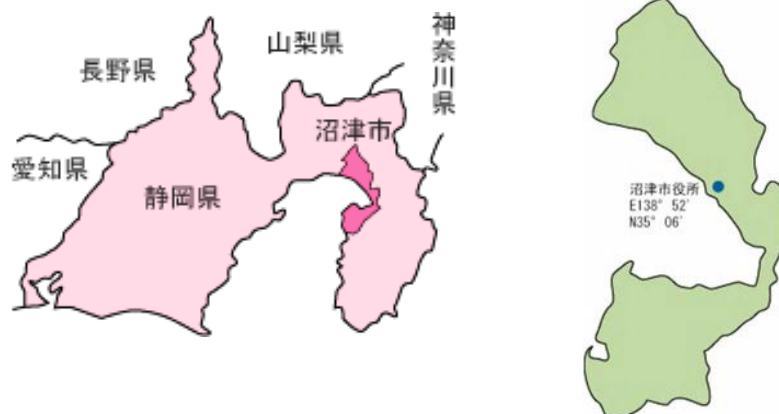
(1) 沼津市の位置と地形

本市は、静岡県東部に位置し、狩野川河口部に広がった市街地を中心としており、行政区域面積 186.96km²（平成 26 年 10 月 1 日現在）の市域と延長 63.02km の海岸線を有しています。

市域は、西を富士市、東を長泉町、清水町、三島市、函南町、伊豆の国市、さらに南では伊豆市と接しています。

本市の地形は、北部を富士山のすぐ南にある標高 1,187m の愛鷹山に、南部を伊豆の山塊によって、奥駿河湾をコの字型に囲んだ形状を呈しています。さらに、その中央は天城山を源流とする狩野川が東から駿河湾へと注いでいます。

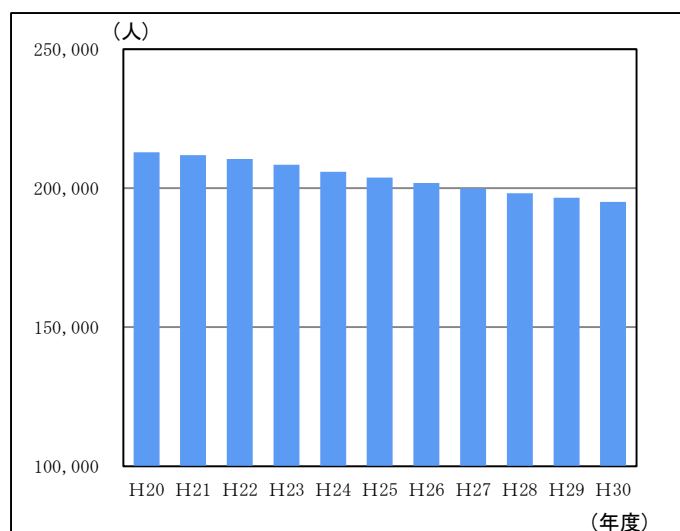
また、北西部の愛鷹山麓と千本浜との間には低湿な平地が広く分布しており、南東部には旧沼津御用邸のある牛臥海岸、静浦、内浦、西浦、大瀬崎、戸田へと美しい海岸線が続いています。



(2) 人口推移

住民基本台帳による本市の総人口は、平成 6 年の 21 万 3,360 人をピークに平成 7 年から減少に転じ、平成 11 年には 21 万人を下回りました。平成 17 年、旧戸田村との合併により、21 万 1,339 人まで回復しましたが、その後も減少傾向が続いています。

■沼津市人口グラフ



3.2 沼津市下水道の概要

(1) 沼津市下水道の処理区と整備経過 (平成30年度末)

本市には8つの処理区があり、最初に昭和42年に沼津駅を中心とする既成市街地、中部処理区において下水道事業に着手しました。この中部処理区は、342.00haの計画面積に対し332.81haを整備し、整備率は97.3%となっています。

久連処理区は、昭和51年に南部の農産業地域の環境改善を図るため事業着手し、昭和54年に計画面積9.50haの整備が完了しています。

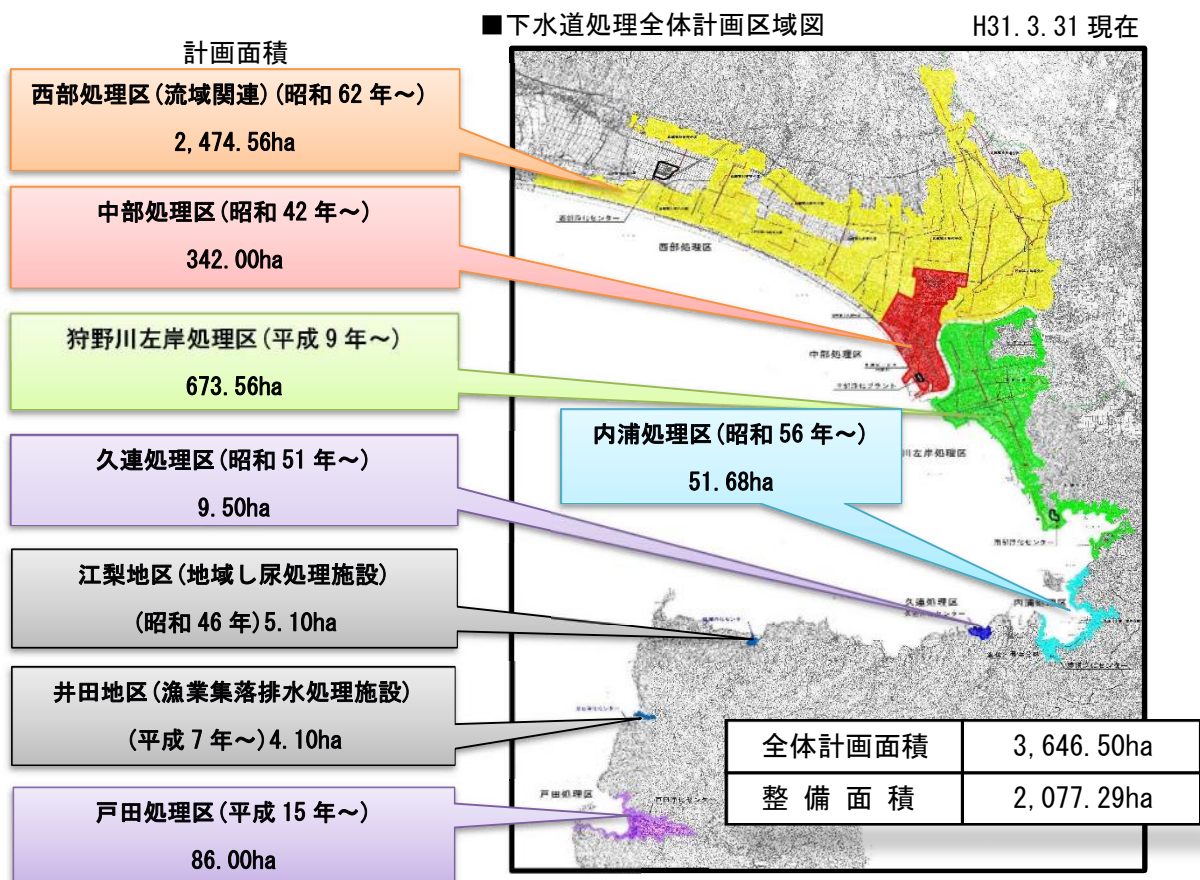
内浦処理区は昭和56年に事業着手し、計画面積51.68haの整備が完了しています。

西部処理区は昭和62年に事業着手し、計画面積2,474.56haに対し1,197.36haを整備し、整備率は48.4%となっています。

狩野川左岸処理区は平成9年に事業着手し、計画面積673.56haに対し403.97haを整備し、整備率は60.0%となっています。

戸田処理区は平成15年に着手し、計画面積86.00haに対し72.77haを整備し、整備率は84.6%となっています。

また、公共下水道ではありませんが、地域し尿処理施設として江梨地区、漁業集落排水処理施設として井田地区の整備が完了しており、平成30年度末現在で全体計画面積3,646.50haに対し2,077.29haの整備が完了し整備率は57.0%となっています。



■整備率表

H26.3.31 現在

処理区 (地区)	整備期間	全体計画区域(H32年)		整備済区域(H25末)		整備率
		面積	人口	面積	人口	
中部	昭42～現在	342.00ha	21,100人	332.81ha	23,491人	97.3%
久連	昭51～54	9.50ha	400人	9.50ha	328人	100.0%
内浦	昭56～現在	58.29ha	2,300人	51.68ha	2,027人	88.7%
西部	昭62～現在	3,396.54ha	115,700人	1,118.31ha	70,987人	32.9%
狩野川左岸	平9～現在	863.00ha	43,000人	346.33ha	18,224人	40.1%
戸田	平15～現在	86.00ha	3,500人	72.77ha	2,327人	84.6%
小計	-	4,755.33ha	186,000人	1,931.40ha	117,384人	40.6%
江梨	昭46	5.10ha	※ 750人	5.10ha	207人	100.0%
井田	平7～11	4.10ha	※ 110人	4.10ha	75人	100.0%
合計	-	4,764.53ha	186,860人	1,940.60ha	117,666人	40.7%



H31.3.31 現在

処理区 (地区)	整備期間	全体計画区域(R12年)		整備済区域(H30末)		整備率
		面積	人口	面積	人口	
中部	昭42～現在	342.00ha	18,830人	332.81ha	21,967人	97.3%
久連	昭51～54	9.50ha	290人	9.50ha	294人	100.0%
内浦	昭56～平29	51.68ha	1,790人	51.68ha	1,762人	100.0%
西部	昭62～現在	2,474.56ha	102,070人	1,197.36ha	74,625人	48.4%
狩野川左岸	平9～現在	673.56ha	32,210人	403.97ha	20,085人	60.0%
戸田	平15～現在	86.00ha	2,320人	72.77ha	1,988人	84.6%
小計	-	3,637.30ha	157,510人	2,068.09ha	120,721人	56.9%
江梨	昭46	5.10ha	※ 750人	5.10ha	176人	100.0%
井田	平7～11	4.10ha	※ 110人	4.10ha	55人	100.0%
合計	-	3,646.50ha	158,370人	2,077.29ha	120,952人	57.0%

※ 江梨、井田処理区については全体計画は無く、計画当初の人口。

(2) 下水処理施設の概要

本市が管理している下水処理施設は、中部浄化プラント、久連浄化センター、重須浄化センター、南部浄化センター、戸田浄化センターの5箇所があります。

中部浄化プラントは、沼津駅を中心とする市街地を処理区として、昭和53年から供用開始した本市で最初の下水処理施設で、処理能力は1日当たり26,460 m³です。

久連浄化センターは、昭和54年に南部の農産業地域を処理区として供用開始し、処理能力は1日当たり612 m³です。

重須浄化センターは、昭和61年に重須・長浜を処理区として供用開始し、その後、隣接する三津・小海・重寺地区を処理区に加え、昭和63年に施設増設を行い、現在の処理能力は1日当たり1,899 m³です。

南部浄化センターは、平成16年に供用開始し、平成22年からは清水町の一部の汚水も取り入れており、処理能力は1日当たり26,000 m³です。

戸田浄化センターは、平成20年に供用開始し、処理能力は1日当たり2,140 m³です。

また、江梨浄化センターは、地域し尿処理施設として、昭和47年に1日当たりの処理能力150 m³として供用開始し、井田浄化センターは、漁業集落排水処理施設として、平成11年に1日当たりの処理能力260 m³で供用開始しました。

また、西部処理区及び他2市2町の汚水を処理する施設として、静岡県が管理している狩野川西部浄化センターが平成6年に供用開始しています。

■下水処理施設一覧

H31.3.31 現在

処理区名	処理場名	排除方式	処理方式	現有 処理能力 (m ³ /日)
中部処理区	中部浄化プラント	分流式 一部合流式	標準活性汚泥法	26,460
久連処理区	久連浄化センター	分流式	長時間エアレーション法	612
内浦処理区	重須浄化センター	分流式	長時間エアレーション法	1,899
西部処理区	狩野川西部浄化センター	分流式	標準活性汚泥法	114,200
狩野川左岸処理区	南部浄化センター	分流式	標準活性汚泥法	26,000
戸田処理区	戸田浄化センター	分流式	膜分離活性汚泥法	2,140
江梨地区	江梨浄化センター	分流式	長時間ばっ気方式	150
井田地区	井田浄化センター	分流式	接触ばっ気方式	260

(3) ポンプ場の概要

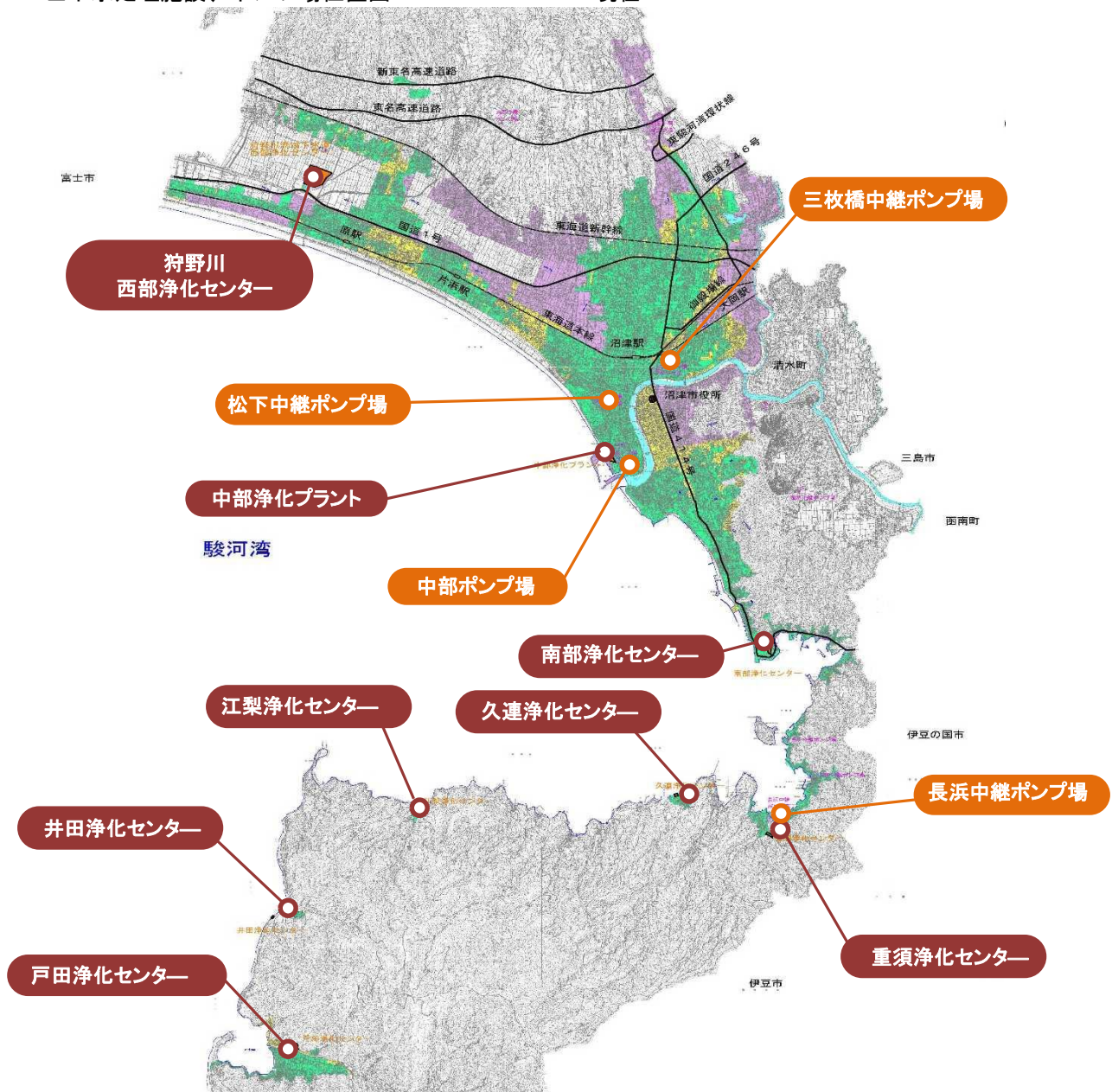
本市が管理しているポンプ場は4つあり、中部ポンプ場は、昭和45年に供用開始し、中部処理区(合流区域)の汚水・雨水を中部浄化プラントへ送っています。

長浜中継ポンプ場は、昭和61年に供用開始し、内浦処理区の汚水を重須浄化センターへ送っています。

松下中継ポンプ場は、昭和62年に供用開始し、中部処理区(分流区域)の汚水を中部浄化プラントへ送っています。

三枚橋中継ポンプ場は、平成9年に供用開始し、西部処理区東部の低地部の汚水を狩野川西部浄化センターへ送っています。

■下水処理施設、ポンプ場位置図 H31.3.31 現在



(4) 下水道の供用区域

下図は沼津市全体の平成30年度末現在の下水道普及図です。

紫色の区域は、全体計画区域、黄色の区域は事業計画区域、緑色の区域は供用区域を示しています。全体計画区域とは、下水道の整備を予定している区域、また、事業計画区域とは、その内優先的に整備を進めていく区域として事業計画を定め、県知事の認可を受けた区域、さらに、供用区域とは、現在下水道が使用できる区域です。

また、行政人口に対する供用開始人口の割合である人口普及率は、平成30年度末現在で60.1%となっています。

■下水道普及図(平成30年度末)

